

ゲートキーパー研修会の参加者を募集します

ゲートキーパーとは悩みを抱える人に気づき、声をかけ、見守る人のことです。自分自身や大切な人の命を守るためにゲートキーパーについて学びませんか？

〈演題〉 「命の価値と生きる意味を考える」

〈講師〉 ^{バク} ^{サンジュン}
朴 相俊氏 (佐久大学看護学部・大学院研究科教授)

〈日時〉 令和6年1月31日(水) 午後2時～3時30分(開場:午後1時40分)

〈会場〉 諏訪市保健センター 多目的ホール(2階)

〈定員〉 50人(先着順)

〈その他〉 入場無料・要約筆記あり

〈お問い合わせ・申し込み〉

諏訪市健康推進課 TEL: 0266-52-4141 (内線592)

FAX: 0266-58-0019



〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30
長野県 諏訪市 健康福祉部
健康推進課 健康支援係
(担当) 田中 貴絵
電話 0266-52-4141 (内線 592)
FAX 0266-58-0019
メール kenkoushien@city.suwa.lg.jp

入場
無料要約筆記
あり

命の価値と 生きる意味を考える

日本の自殺者数(令和4年)は2万1,881人で、交通事故死者数のおよそ8倍といわれています。ゲートキーパーとは「命の門番」ともいわれ、悩んでいる人に気づいて声をかける人のことです。自分のまわりの大切な命をもしかしたら少しの気遣いで守ることができるかもしれません。

今回は、県内外でゲートキーパー研修の講師をされている朴先生にお話を伺います。大切な人の命を守る「気づきのポイント」とは、そして「生きる本当の意味」とはいったい何でしょうか?多くの方のご参加をお待ちしております。

とき

令和6年 **1月31日** | 水曜日 (開場 1時40分)
午後2時00分～3時30分

ところ

諏訪市保健センター2階
多目的ホール

講師

佐久大学看護学部・大学院研究科 教授
ぱく さん じゅん
朴 相俊 先生



●講師略歴

朴 相俊 (ぱくさんじゅん、日本認知・行動療法学会 認定行動療法士)
韓国生まれ(1998年来日)。2010年に東京大学大学院教育学研究科身体教育学コースで修士・博士課程を経て、現在は佐久大学で基盤教育を行っている。教育学修士、環境共生学博士、日本自殺予防学会編集委員、信州公衆衛生学会理事。専門分野は身体教育学・健康教育学で、現在は、長野県内を始め他県の市町村を対象に自殺予防のためのゲートキーパー教育やメンタルヘルス研修に関する実践と研究活動などに携わっている。

研修会の前後で「あおぞら工房諏訪」による自主製品の販売があります

主催：諏訪市

お問い合わせ

諏訪市健康推進課

TEL：0266-52-4141(内線592)

FAX：0266-58-0019